2010年度　腫瘍系

**Ⅰ.宮下**
次の家族性腫瘍における空欄を埋めよ

|  |  |
| --- | --- |
| 疾患名 | 原因遺伝子 |
| 網膜肉芽腫 |  |
| 家族性腺腫性ポリポーシス |  |
|  | MSH2,6 MLH1など |
|  | p53 |
| 家族性乳がん・卵巣がん |  |

**Ⅱ.早川**
次の空欄を埋めなさい
癌の治療は大きく手術療法、放射線療法、化学療法に分けられるが、それぞれの特徴から手術療法と放射線療法は（ a ）療法として、また、放射線療法と化学療法は（ b ）療法として包括される。

放射線治療の特徴をまとめると以下のようになる。
① 病巣部を切除しないで（ c ）を温存することが出来る。
② 手術（ d ）部位でも照射出来る。
③ 一般的に外科療法、化学療法に比べて全身への影響が（ e ）。
④ 放射線の副作用には（ f ）反応と（ g ）反応がある。
⑤ 会社の帰りでも（ h ）治療が可能である。

放射線治療は体外から病巣に放射するものは外照射といい、病巣に対して組織内、腔内に間接照射するものは（ i ）という。
画像を利用して、標的部位に放射線を照射する事を（ j ）放射線治療という。

**Ⅲ.狩野**悪性腫瘍の検査所見を５つ示し、それぞれの原因を説明せよ。

**Ⅳ.北里**
EBVの発がん機構について、免疫回避機構にも触れながら説明しなさい

**Ⅴ.角田**
ベゼスタシステムによる細胞診について分類し、病理診断、従来のクラス分類との比較、運用を述べなさい

**Ⅵ.小泉**
標的病変の効果判定規準(RESIST）について述べなさい

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

**Ⅶ.林**
1. 乳ガンの危険因子を5つ述べなさい

2. マングラフィにおける像を以下の言葉5つ以上を使って図示しなさい
 大胸筋、小胸筋、鎖骨、肩関節、クーパー靭帯、乳頭、乳腺、皮膚

**Ⅷ.原**
次の文章を読み、正しければ○を、間違っていれば×をつけなさい
1. 女性の乳癌の罹患率は1位である
2. 乳癌の手術法は近年温存療法に変化しつつある
3. マンモトームとは画像ガイド下に組織を吸引する生検のことである
4. 主にアンドロゲンが原因で乳ガンになる
5. 乳腺の組織像では2 cell patternを示す
6. 浸潤性乳管癌は乳頭腺管癌、篩状腺管癌、硬癌に分けられる
7. 浸潤癌は癌細胞が基底膜をこえて、間質に浸潤する
8. 乳腺症は良性腫瘍の1つである
9. 葉状腫瘍は悪性を示すことが多い
10.非浸潤癌は浸潤癌より多い

**Ⅸ.中山**
口腔と咽頭の違いを図示しなさい

**Ⅹ.蒋**
肺小細胞癌について知るところを述べなさい

**ⅩⅠ.益田**
肺癌を疑った時の問診について述べなさい

**ⅩⅡ.馬場**
膀胱癌について間違っているものを1つ答えなさい
a）経尿道的膀胱腫瘍切除術を行う
b）
c）p53の変異で起きる
d）尿細胞診では高率でclassⅤが検出される
e）予防にBCGを投与する

**ⅩⅢ.山本**
ガンの罹患で起こる精神症状を3つ述べなさい

**ⅩⅣ.金井**
ガン性疼痛治療の5原則を答えなさい

**ⅩⅤ.岡**
頭蓋内圧亢進による症状を述べなさい

**ⅩⅥ.原**
次の脳腫瘍に関する文章を読み、
正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい
1. 下垂体腺腫はトルコ鞍にできる
2. 一番多い原発性脳腫瘍は神経膠腫である
3. 脳腫瘍に見られる特徴的な組織像に核の柵状配列がある
4. 悪性度の高いものほど転移しやすい
5. 転移性脳腫瘍の多い原発巣は大腸がんである
6. ロゼット構造は上衣腫でみられる
7. ローゼンタール線維は間質の特徴的な所見である
8. 髄芽腫は高齢者に好発する
9. 星細胞系腫瘍で予後が一番悪いのは退形成性星細胞腫である
10. 脳腫瘍のうち神経の機能を向上させるものはない